

電気電子部会 第 137 回研修会

「設備監視システム」と「電設見聞録」

1. はじめに

電気電子部会では、12月9日(水)大阪市西区の「住友電設(株)大阪本社ビル」にて研修会を開催した。

講演に先立ち、和食宏部会長よりごあいさつがあり、本年技術士二次試験電気電子部門の経過報告や技術士の活動について話された。また、阿部相談役(大阪技術振興協会専務理事)からは、日本技術士会の公益法人化に向けての取り組み状況を話された。

2. 研修会

研修会は年末の忙しい時期にも関わらず、41名が参加し盛況な研修会となった。

(株)きんでん谷澤章氏からは、「設備監視システムの新たな展開」
う演題で講演していただいた。まず、設備監視システム全般の目的や対象、システム構成の変遷、BACnet や LONWORKS、FL-net 等についてわかりやすく説明された。次に、介護施設向けの見守り支援システムについて、介護施設の現状、新センサの開発、生体情報の検出、システムの概要、導入事例等紹介された。これらは、経済産業省実証委託事業にもなっており、無意識、かつ非拘束なセンシングシステムとして、開発に取り組みされていた。その後の、質疑応答では厳しい意見も出されたが、会員相互の意識高揚にはな
ったと思われる。

続いて、元住友電設(株)、現(株)総合ビルマネジメントの森山茂氏からは「電設見聞録」—ここだけの裏話という演題で講演していただいた。日本電設工業協会発行の月刊誌「電設技術」に8年間にわたり「電設見聞録」というエッセイを連載している氏であるが、海外電気設備工事の体験について以下の3件について話された。

1. 石油精製施設の見積り(イラン：1976年)
2. 繊維染色工場の設計(アルジェリア：1977年)
3. 高速道路の施工(イラク：1980～1982年)

ユーモアあふれる話であったが、それぞれ商習慣の違う土地で、過酷な環境のもと仕事をされていた。また、それらに加え当時の世相や戦争による影響も大きかった。そして仕事だけでなく、生活用品や食料、酒の確保まで涙ぐましい苦勞されていたのが印象的であった。

3. 忘年会

研修会後の忘年会は、住友電設(株)のご好意により同じ大阪本社ビルで開催した。参加者は35名、研修会講師の谷澤章氏、森山茂氏にもご参加いただいた。参加者同士の親睦と情報交換の場となった忘年会は、例年のとおり盛況であり、無事閉会となった。



写真1 谷澤氏ご講演



写真2 森山氏ご講演

(記) 東 弘明